

産業廃棄物を分別するメリット

平素お世話になります。リサイクルクリーン市川です。今回は廃棄物の分別についてです。

産業廃棄物の分別は、ルールとして行わなければならないものですが、しっかりと行うことによって得られるメリットも少なくありません。以下に、産業廃棄物を分別するメリットについて紹介します。

産業廃棄物を分別するメリット

① リサイクル率が上がる

産業廃棄物の中には、リサイクルをすれば再度使えるようになったり、別の用途に活用できたりするものもあります。分別をすることで、リサイクル可能な廃棄物を正しく集めることができ、リサイクル率向上が目指せます。

② 有価物の売却益を得る

別の用途に使うことができる産業廃棄物は、それらを必要とするところに売却し、収入にすることができます。本来、産業廃棄物を捨てることは支出を伴うものですが、正しく分別して有価物を見極めれば、それを収益につなげることができるのです。

③ 処理費の削減ができる

産業廃棄物の処理を外部に委託する場合、処理する量や内容によって金額が変わってきます。場合によっては、委託先から返品をされてしまい、無駄な支出が出てしまうことも。しかししっかりと分別を行っていれば、返品の危険性はなくなり、委託先で分別をしてもらう必要がないため、処理費用を抑えることができます。

産業廃棄物を分別しないデメリット

産業廃棄物を分別しない場合、異物混入が発生してさまざまなデメリットを引き起こす可能性があります。大きな損害につながる恐れもあるため、必ず産業廃棄物は分別するようにしましょう。

① 結果的に、分別コストが増える

産業廃棄物の処理を委託した先で異物混入が見つかった場合、委託先で分別が行われるため、別途分別費用や処理費を請求される可能性があります。その結果、自社で分別するよりも多額のコストが掛かってしまうこともあります。

② ケガや設備故障の原因になる

本来そこにあるはずのない産業廃棄物が含まれていると、現場で作業をする人がケガをし

たり、処理設備の故障を引き起こしたり、さまざまな損害が発生するリスクがあります。人員の補充や設備の修理はコストが高く、大きな損失につながりかねません。

③ 責任問題による損害賠償を請求される可能性も

産業廃棄物の処理を委託した先で、異物混入による損害が発生した場合は、責任問題として産業廃棄物の受け入れが停止されたり、賠償金を支払うことになったりする可能性があります。その結果、産業廃棄物がスムーズに処理できなくなり、新たな保管場所の確保や生産調整など、さらなるコスト発生につながる恐れがあります。

今回、分別のメリットとデメリットを記載させていただきました。分別を行う事で処分料金の軽減等メリットが多いことが分かったと思います。もし興味がわきましたら一度ご連絡ください。担当営業が説明と方法を提案させていただきます。またお気軽にお問い合わせください。